

機器導入時のひと工夫

● 持ち運び BOX

持ち運びBOXに、機器をまとめて入れ、線は接続したままにしておく。教室へ持って行ったとき、2本のコード(大型テレビやプロジェクターと AC 電源)の接続だけで済み、準備にかかる時間を軽減できる。



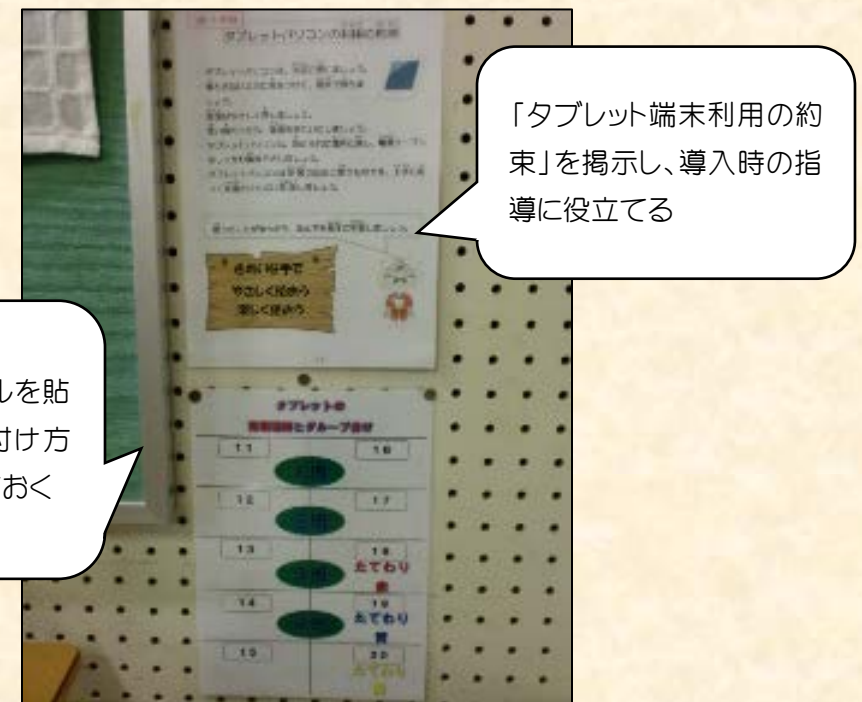
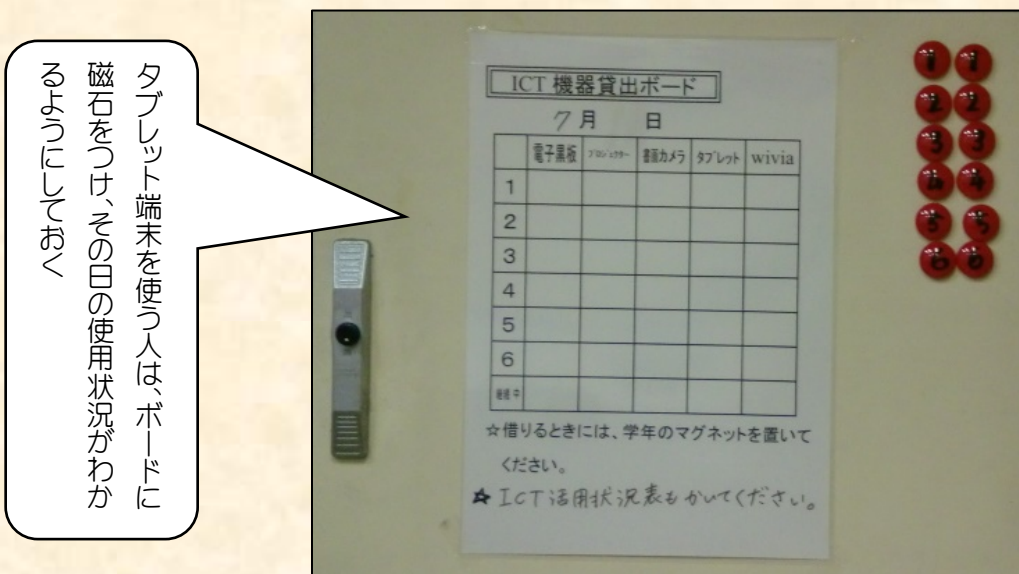
● ICT 教室

多目的室等を利活用し、機器を常設して ICT 教室とすることで、タブレット端末等を運んだり、機器を接続する手間を軽減する。ICT のケーブルは接続した状態にしておき、机等も運び入れ、普通教室と同じ状態にしておく。



● タブレット端末の使い方指導や片付け方

● ICT 貸出しボード



● タブレットホルダー

タブレットをホルダーで固定すると、様々な場面での活用が期待できます。



三脚で固定して遅延再生アプリを使います。演技をした後、自分で動きを確認できます。



首からぶら下げるタイプのホルダーです。



ハンディタイプのホルダーです。

● 接続がうまくいかないときに便利なもの

無線画面投影機の調子が悪くて、テレビに映らないときもあります。そのような時は、焦らず、有線でタブレット端末とテレビを直接つなぎます。手元に次のような変換プラグを準備しておく、安心です。



Windows の場合
マイクロHDMI端子または、ミニHDMI端子
を HDMI 端子に接続するプラグ

iPad の場合
Lightning 端子から、HDMIに変換する
プラグ



※大型テレビにHDMI端子がない場合
タブレット端末からのデジタル信号をアナログに変換するコンバータを使います



HDMI→コンポジット端子へ



HDMI→VGA端子へ